

平成22年1月28日



国土交通省
信濃川河川事務所

記者発表資料

配布先	■長岡市市政記者会 ■週旬刊記者会
取扱	発表をもって解禁

信濃川河川事務所 平成21年度2次補正予算による事業について

◆国土交通省信濃川河川事務所においては、
平成21年度2次補正予算（ゼロ国債）※として、
378百万円が配分されました。

※ゼロ国債とは、公共事業の発注平準化を図り、円滑かつ効率的な執行を推進することを目的に、債務負担が次年度以降にわたるもので、当該年度中の国費の支出がゼロの国庫債務負担行為のことをいいます。

【事業の内容】

※事業箇所の位置図、事業費の詳細は、別紙の参考資料1をご覧ください。

○長岡市 信濃川 西蔵王地区弱小堤対策の完成

洪水を安全に流すことを目的に築堤・護岸等の整備を行い、一連区間の堤防整備を完成させます。

※事業の詳細は、別紙の参考資料2をご覧ください。

○長岡市 渋海川 下山地区弱小堤対策の推進

信濃川左岸の長生橋上流における堤防のかさ上げ・拡幅に引き続き、渋海川左岸の堤防についても、かさ上げ・拡幅を進め、洪水の安全な流下を図ります。

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所

副所長(技術) 増田 孝幸(ますだ たかゆき) 電話 0258-32-3020(代表)
調査課長 大作 和弘(おおさく かずひろ) 電話 0258-32-3243

★本資料は、信濃川河川事務所のホームページでもご覧いただけます。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano>

にしぎおう 西蔵王地区 弱小堤対策の完成

にいがた ながおか
新潟県長岡市

●災害に強い安全・安心な国土の実現

事業の概要

信濃川右岸の長岡市西蔵王地区の堤防は、コンクリートで造られた特殊堤となっており、昭和37年の設置から50年近くが経過し、老朽化が顕著となっています。また河川敷の幅が不足していることから、洪水に対する安全度が低い状況となっています。

堤防の背後には住宅地や地域経済を支える工場があることから、本箇所では氾濫した場合、甚大な被害となることが想定されるため、洪水を安全に流下させることを目的に、長岡市道の整備と連携して堤防の整備を完成させます。

整備効果

築堤と護岸の整備により、信濃川の治水安全度を向上させます。

事業着手

平成21年度

平成21年度2次補正予算の事業内容(ゼロ国)

川の断面積を確保するための掘削を行うとともに、築堤と護岸等の整備を実施し、一連区間の堤防整備を完成させます。

位置図



老朽化が顕著な特殊堤

